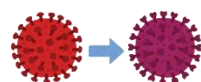




R3.9.1
服間小学校
保健室

もういちど確認!マスク・手洗いなどの感染症対策を!

ニュースなどでも言われているように、新型コロナウイルスは、人から人へ感染しながら少しずつ変異しています。今、流行しているウイルスの形は、大人だけではなく、子どもも感染しやすいと言われているため、手洗い・マスク・3密回避などの対策が大切になってきます。

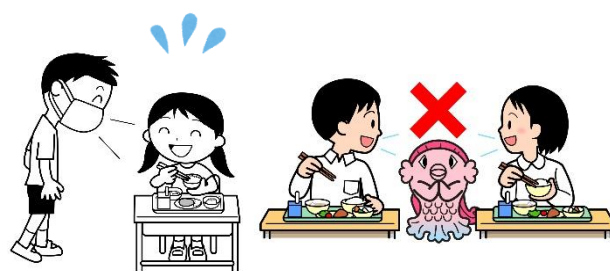


おはなしはマスク・忘れがちなタイミング

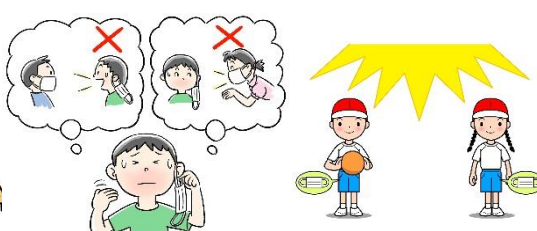
いつでもマスクをつけよう!ということによく分かっていると思いますが、つい忘れがちな場面もあります。「おはなしを



★給食(食事)の時

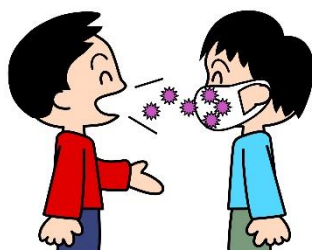


★運動や暑さでマスクを外した時



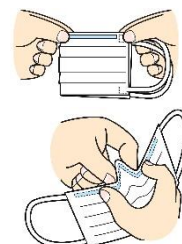
マスクを外している場面では、周りの人に話しかけないようにしましょう。マスクを外しながら話す場面ではソーシャルディスタンスの距離(約1~2m)をとりましょう。特に、自分が食事を終えた後や自由遊びの後などは注意が必要です。うっかり忘れていた人がいたら、「マスクしよう!」「今はマスク外しているから、(話すのは)ちょっとまってね。」と声をかけ合えらうといいですね。

マスクの効果をふりかえろう



咳やくしゃみ・おしゃべりをする事でとんでいく飛沫をおさえる効果があります。マスクは、顔にあったサイズのものを使いましょう。

使い捨てタイプのマスクは、鼻の部分折りたたみ「①鼻②ほほ③あご」にすきまがでないようにしましょう。



☆飛沫がとぶのをおさえる

保護者の方へ

必ず健康チェック(登校前)の確認をお願いします

いつも感染症対策にご協力いただきありがとうございます。感染拡大防止のため、登校前の「検温」及び「健康チェックカード」は、基本的に保護者の方の監督のもと、ご記入いただきますようお願いいたします。

保護者の方のサイン欄が設けてあるため、検温・カードへの記入などはお子様



マスクの素材の種類について

マスクの素材にはいろいろな種類がありますが、一般的にウイルスの飛散などを防ぐ効果は「不織布マスク」が1番高いようです。(その次に「布マスク」、「ウレタンマスク」の順となります。

素材が肌に合わない場合や、準備される際のコストの問題もありますので、強制ではありませんが、使い捨てができ、衛生的でもありますので、この3つ種類の中では不織布タイプの使用をおすすめします。

おすすめ!



ふしよくふ
不織布タイプ



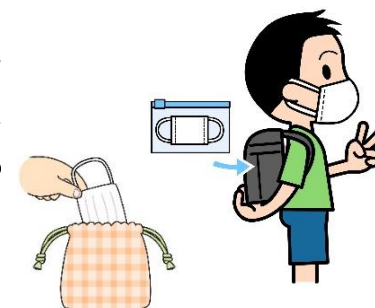
ぬの
布タイプ



ウレタンタイプ

予備マスクの準備をお願いします!

学校生活の中で、マスクを落としてしまった・汗や息などで蒸れて、ベタベタになってしまった...という人がよくみられます。学校でも予備は準備していますが、1日1枚つけてくるだけではなく、2~3枚程度、自分の予備のマスクをジッパー袋や巾着などに入れて準備してきてください。



☆口や鼻をさわるのを防ぐ



※手についたウイルスが口や鼻、目から体に入って感染します。

こまめな手洗いや消毒を気をつけていても、ウイルスが手に残っていることもあります。ウイルスを鼻や口から体の中に入れないようマスクをつけましょう。

やってみよう★眼トレ^{がん}（目玉^{めだま}だけを動かしてまちがい探しをやってみましょう！）



★まちがいは「7つ」あります！！

①先頭の子の前髪/②後ろの子の服のえり/③道路はじのボール/④旗のマーク/⑤運転手の前髪、
⑥旗を持っている人の服のボタン/⑦ベビーカーをおす人の髪型